

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆24年度国民負担率45.8% 財務省発表、定額減税で低下へ

・財務省は5日、国民や企業が所得の中から税金や社会保険料をどれだけ払っているかを示す2024年度の国民負担率が前年度比で0.3ポイント低下の45.8%になる見込みだと発表した。政府が物価高対策として実施した定額減税の影響で低下したものの、依然として高水準にある。

◆最低賃金1500円「対応不可能・困難」7割 中小企業調査

・日本商工会議所は最低賃金引き上げの中小企業への影響に関する調査結果を発表。2020年代に全国加重平均1500円にする石破茂政権の目標を巡り「対応は不可能」が19.7%、「対応は困難」が54.5%で計74.2%に達した。東京23区と政令指定都市を除いた地方のうち、従業員20人以下の小規模企業では「不可能」が25.1%に上った。

◆10～12月期経常益は2桁プラス 外需・円安頼みに不安

・財務省が発表した2024年10～12月期の法人企業統計によると、経常利益は製造業が伸び、季節調整済み前期比で12.1%増えた。海外需要の拡大や円安の影響が大きい。トランプ米大統領の関税政策や海外景気に不透明感が高く、業績の改善が続くかは見通しにくい。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン、AI全盛でも貫く「人が基軸」経営 沖縄で真価

・ダイキン工業が最も重要な理念とする「人を基軸におく経営」を貫こうとしている。沖縄で9日まで開かれる女子プロゴルフの国内ツアー「ダイキンオーキッド」に、現地スタッフとして社員100人超を送り込んだ。人工知能(AI)の全盛期にあつて、飾らない対応で来場者をもてなし、人と人との関係からビジネスを学ぶ機会と位置づける。

◆都の24年度「断熱・太陽光住宅普及事業」31日まで事前受付

・東京都は、2024(令和6)年度の「断熱・太陽光住宅普及拡大事業」(予算額:約683億円)の事前申込みを3月31日まで受け付け。省エネ・再エネ住宅の普及拡大を促進するために実施するもの。①家庭における太陽光発電導入促進事業②家庭におけるパワーコンディショナ更新費用助成事業など7項目を募集。

◆YKKAP、27年度に住宅アルミ窓の生産終了 高断熱窓へ

・YKKAPは2028年3月期をめどに国内の住宅向けアルミ窓の生産を終了すると発表。アルミと比べて価格高騰の影響を受けにくく、断熱性能も高い樹脂や木材を使った窓に生産を切り替える。アルミと樹脂を組み合わせた複合窓の生産は続ける。アルミ製品については窓以外の門扉やエクステリア、自動車部品などの供給を拡大。

《 注目商品 》

■LIXIL、防犯強化につながる外構照明・フェンス・機能門柱

・LIXILは、多様化・凶悪化する住宅侵入犯罪対策として、敷地に侵入しにくくするエクステリア建材「照明」「フェンス」「機能門柱」の3カテゴリーから新製品を4月1日に発売。人感センサで段調光が可能な「インダイレクトポールライト」など3機種を追加。



■LIXIL、マンション向け取替窓「リプラス マンション用 防火戸」

・今ある窓を1日で高性能窓へ交換できるマンション向け取替窓「リプラス マンション用 防火戸」の引違い窓と内倒し窓を新たに追加し、4月1日より発売。業界初のAグレード(熱貫流率1.9W/(m²・k))の断熱性能を有する引違い窓と戸別改修用業界初内倒し窓。



■シャープ、プラズマクラスター衣類乾燥除湿機

・1日あたり定格18.5Lの高い除湿能力と最短74分の速乾性能を備えながら、運転音を45dB未満の低騒音で実現したプラズマクラスター衣類乾燥除湿機<CV-T190>を発売。排水の負担を軽減する新構造の「感動タンク」を搭載、使いやすさにも配慮。

